

## 動画を確認し、アドバイスしあって練習しよう

子どもたちは発表会に向けて自分たちの技の完成度を高めたいと考えてます。自分の技の課題を見つけるために、ICT機器を活用したり仲間とアドバイスをし合ったりします。前時には自分の技の完成度を知るために、ペアでお互いに技を見せ合いチェックカードを基にしながら、アドバイスし合いました。



①前時にペアでお互いに技を見せ合い、アドバイスをしました。自分ではできているつもりだったのに「肘が曲がっている」といわれたなど、前時を想起しました。



②見本の動画と自分の演技を比較できるかを問います。  
様々な角度から自分の演技の動画を活用することで改善点が見出せることを確認しました。



③【個人練習】前時に仲間からもらったアドバイスに「手をつく幅が広すぎる」と言われたことなどを意識して個人で練習を行います。



④【ペア学習】様々な角度からお互いに、技を撮影し合います。動画の一時停止やスローストーション機能を活用しながら、技の改善点を見つけ出します。



⑤お互いに撮影した動画を仲間や先生と一緒に確認し改善点を考えます。動画を見ながら確認することで様々な視点から自分の技を客観的に見ることが出来ます。



⑥個人で今日の学習のカードに記入し振り返りを行いました。動画を撮ったことでどんな改善点が見つかることができたかを意識しながら全体への発表を行い全体へ共有しました。

東部中学校 保健体育 辻 真之 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

## 伊那市学力向上検討委員会の先生方と

### 「ICT活用教育」について考える

伊那市のICT活用教育は、「授業での有効活用に関する研究」へと深化しています。「伊那市学力向上検討委員会」の先生方にもご協力をいただき、授業研究を積極的に行っています。

東部中学校の辻真之先生に保健体育の授業を提供していただき、学び合いました。



東部中学校ではICTの活用に関心をもち、研究グループがあります。研究会にはグループのリーダーを務める先生も参加していただきました。

#### 参加された委員の先生方のご意見を紹介します

- ・1年生のこの時期にどれだけ色々な技に挑戦できるのは素晴らしいと感じました。1時間の中でも、みんなが長い時間マットの上で活動するいい授業だったと思いました。動画を撮影するということで、実技を行おうとする意欲が高まっていると感じました。ICTを使わないでお互いに見合っていることでは、あれほどの取り組みはなかったかもしれません。動画を撮影したことによって、仲間同士で同じ動画を見ながら、評価し合ったり技のポイントを相談し合ったりすることができていました。
- ・子どもたちにとって完成形の見本があると自分の課題を設定することができます。自分自身の動画だけでは比較するものがないので、やはり、完成形の動画は必要だと思います。例えば、「AIスマートコーチ」といったアプリケーションはおすすめです。このアプリは、自分の動画と見本の動画を重ねて再生し比較することもできます。
- ・ICTを使う上で注意したいのは動画などを見ることに時間を取られると実技を行う時間が短くなってしまうことがあります。今日の授業では実技の時間をきちんと取ることができていました。子どもたちはICT活用と実技のバランスを上手に取っていたのだと思います。
- ・今日の授業の中で大事なことは「どの角度から映像を撮るか」だったと思います。それは演技者の願いを撮影者が

どう理解してどこから撮るかということです。「このポイントを自分自身で見てみたいのでこの角度から撮って」という。このことでもお互いに課題とかポイントを共有できます。授業の中でも最初は真横から撮影していたのですが、「一直線を移動しているのかをみたいので後ろから撮って」とペアを組んでいる仲間をお願いしている姿がありました。

- ・子どもたち同士が考え合うための「視点」について考えてみたいと思います。ペアで動画撮影するためには実演する子どもが自分の課題を明確に持っていることと撮影する子どもが同じ視点を持っていることが必要です。その視点をスキルとして持つためには体育の授業だけではなく他の教科でも意識していくことが必要だと思います。他の教科とも連携しながら研究を進めていくことが大切になります。他の教科の先生が体育の授業を参観したときに自分の教科ではどう活用するかという「視点」を持つことが大切になるのです。東部中学校の研究グループでの研究としてさらに取り組んでいけると良いと感じました。
- ・ICTが授業で活用できるようになったことにより、自分自身を評価する方法を多様化させることが可能になりました。単元を通して自分の活動をこまめに記録することによって自分の成長を感じることもできます。それを見ることによって教師は今までも違った評価が可能になってくるのです。この授業の中で自分は何を課題として捉え、何をポイントとして取り組むかを明らかにすることが「振り返り」の中では大切になります。その連続の中で子どもたちは自分の成長を実感できるようになると思います。